

FAO / WHO 合同食品規格計画

第 32 回栄養・特殊用途食品部会

日時 : 2010 年 11 月 1 日 (月) ~ 11 月 5 日 (金)

場所 : サンティアゴ (チリ)

仮議題

1.	議題の採択
2.) コーデックス総会及びその他の部会からの付託事項
) FAO 及び WHO からの付託事項
3.	栄養表示ガイドライン付属規格：一般集団を対象としたビタミン及びミネラルの栄養参照量（栄養素等表示基準値）を設定するための一般原則（ステップ 7）
4.	コーデックス栄養表示ガイドラインにおける表示目的の栄養参照量（栄養素等表示基準値）の追加/改定提案（ステップ 4）
5.	食品への必須栄養素添加のためのコーデックス一般原則（CAC/GL 9-1987）の改定提案（ステップ 4）
6.	年長乳児及び年少幼児用の調整補助食品ガイドライン（CAC/GL 8-1991）の改定提案（ステップ 4）
7.	一般集団を対象とした食事や栄養に係る非感染性疾患のリスクと関わりのある栄養素の栄養参照量（栄養素等表示基準値）の提案（ステップ 4）
8.	乳幼児用の精製穀物加工食品の規格基準（CODEX STAN 74-1981）に低体重児用の新規 PartB を挿入することに関する討議文書
9.	その他の事項及び今後の作業
10.	次回会合の日程及び開催地
11.	報告書の採択

会期直前に以下の作業部会が開催される予定である。

10 月 30 日 (土) 9 時 ~ 13 時

・一般集団を対象とした食事や栄養に係る非感染性疾患のリスクと関わりのある栄養素の栄養参照量（栄養素等表示基準値）の設定を行う上での原則及び基準についての提案原案の推敲を行う作業部会会合

10 月 30 日 (土) 14 時 30 分 ~ 17 時 30 分

・一般集団を対象としたビタミン及びミネラルの栄養参照量（栄養素等表示基準値）の開発を行う作業部会会合

10 月 31 日 (日) 9 時 15 分 ~ 17 時

・ナトリウム / 食塩及び糖類に関する技術作業部会会合

FAO / WHO 合同食品規格計画

食品表示部会

物理的作業部会

日時 : 2010年11月15日(月)~11月16日(火)

場所 : ブリュッセル(ベルギー)

議題 遺伝子組換え / 遺伝子操作技術由来食品に関する食品、食品原料の表示に関する提言案

経緯等 遺伝子組換え食品の表示制度を各国で作成する際に参考とするため、本提言案が検討されている。

現在の構成案は、冒頭文書、遺伝子組換え食品の表示に関して適用されるコーデックス基準等のリスト、適用する際の注意点、強制表示の際に適用されるコーデックス基準等の条文、任意表示の際に適用されるコーデックス基準等の条文が示されており、ステップ3として各国に回付されている。

標記作業部会では、明確な根拠に基づく各国のコメントを求め、検討が行われる予定。

対処方針 我が国は、遺伝子組換え食品の表示について、各国のアプローチの違いを尊重した上で、提言案の合意がなされるよう、対処する予定